



2025 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 日 本 色 材 工 業 研 究 所
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 奥 村 華 代
(コード:4920 スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 内 田 実
(TEL. 03-3456-0561)

上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2025 年 2 月 28 日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状況となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合にむけた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移および計画期間

当社の 2025 年 2 月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、下表のとおりとなっております。2023 年 2 月末時点においては、流通株式時価総額については基準を充たしておりませんでした。2024 年 2 月末時点においては、当該基準を含めたすべての上場維持基準に適合いたしました。しかしながら、2025 年 2 月末時点において、再び流通株式時価総額について上場維持基準を充たしていない状況となったことから改めて適合に向けた計画を作成するものです。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況およびその推移	2024 年 2 月末時点	1,937 人	6,924 単位	1,180,372,785 円	32.9%
	2025 年 2 月末時点	2,188 人	6,948 単位	838,304,984 円	33.0%
上場維持基準		400 人	2,000 単位	1,000,000,000 円	25%
2025 年 2 月末時点での適合状況		適合	適合	不適合	適合
計画期間		—	—	2027 年 2 月末	—

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針、課題および取組み内容

スタンダード市場上場維持基準への適合に向けた具体的な内容につきましては、添付の「上場維持基準への適合に向けた計画について」に記載のとおりです。

以 上

上場維持基準への適合に向けた計画について

株 式 会 社 日 本 色 材 工 業 研 究 所
(証 券 コ ー ド : 4 9 2 0)

2 0 2 5 年 5 月 2 6 日



IPPON
SHIKIZAI
GROUP

○ 上場維持基準への適合状況および計画期間

1. 上場維持基準への適合状況

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 およびその推移	2024年2月末時点	1,937人	6,924単位	1,180,372,785円	32.9%
	2025年2月末時点	2,188人	6,948単位	838,304,984円	33.0%
上場維持基準		400人	2,000単位	1,000,000,000円	25%
2025年2月末時点での適合状況		適合	適合	不適合	適合

- 2024年2月末時点で上場維持基準にすべて適合しましたが、「流通株式時価総額」について、再び不適合となりました。

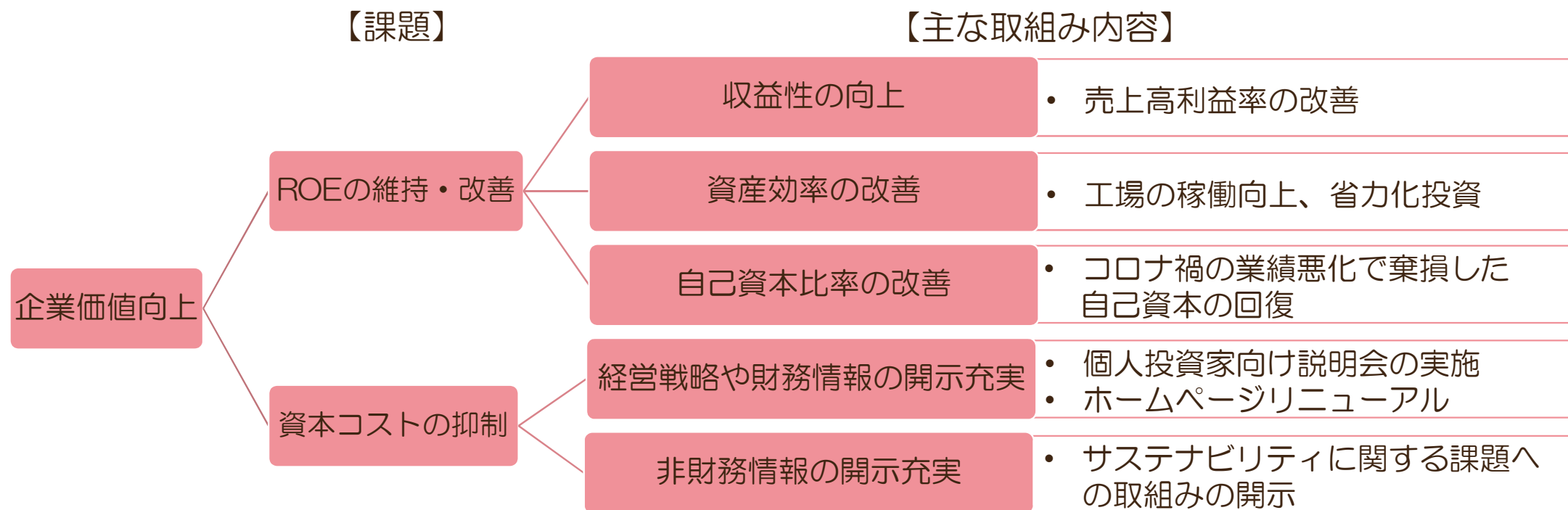
2. 計画期間

- 2027年2月末日までに本計画に記載の各種取組みを進めてまいります。

※当社は、経過措置の適用対象であるため、2026年2月末日の基準日から、本来の上場維持基準が適用されます。

○ 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針

- 当社は、持続的な成長および企業価値の向上に向けた課題を、下図のと通りの構造と考えております。
- 「中期事業戦略ビジョン(2022-26)」を着実に実行し、企業価値の向上を図り、流通株式時価総額基準の達成を目指します。



○ 課題および取組内容①

● 総論

$$\text{流通株式時価総額} = \text{時価総額} \times \text{流通株式比率}$$

- 時価総額が低迷しているのは、業績の回復が株主・投資家の皆様のご期待に足りていないものと認識しております。
- 「中期事業戦略ビジョン（2022-26）」の実現に向けて、重点戦略を中心に取組み、業績の着実な改善を目指します。
- 株主/投資家の皆様に当社の業績や取組みに関する理解いただくため、IR活動の強化に注力してまいります。

○ 課題および取組内容②

● ROEの維持・改善

⇒ 「中期事業戦略ビジョン（2022-26）」の着実な実行

ROEの維持・改善：8%以上を維持、10%以上を目指す

ROE（利益/自己資本）＝ ①売上高利益率 × ②資産効率 × ③財務レバレッジ

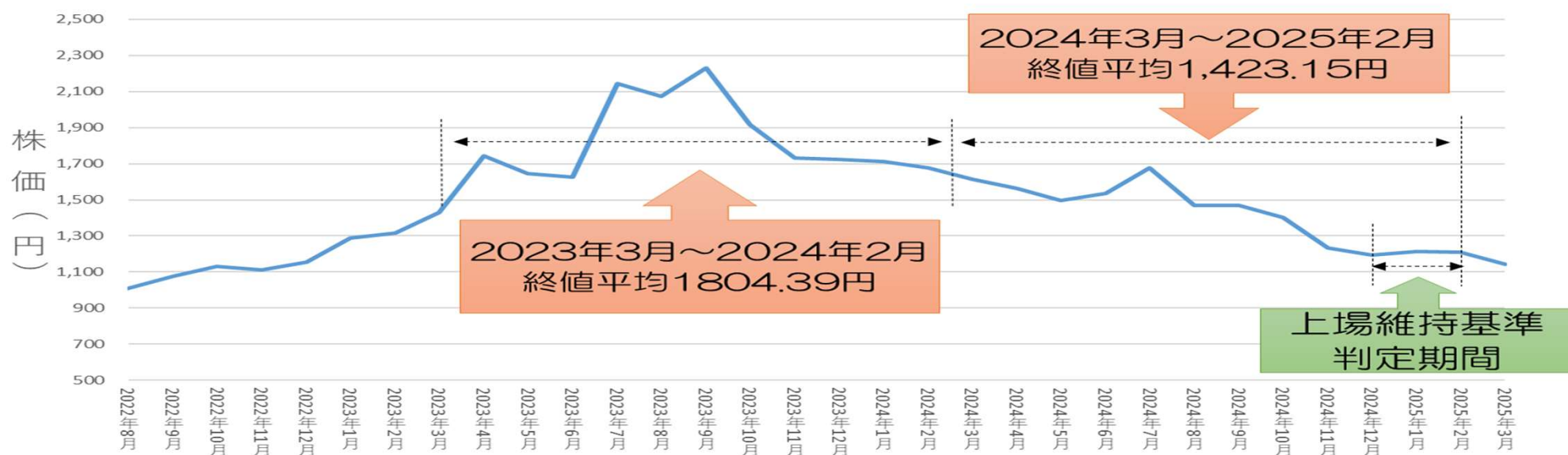
①売上高利益率の改善	利益/売上高：↑	- 受注を獲得、工場の稼働を向上させ、つくば3期投資等で上昇した固定費を打ち返す - 原材料費、人件費、光熱費、諸経費等のコスト上昇を、単価への反映で打ち返す
②資産効率の改善	売上高/資産：↑	- 工場の稼働を向上させ、全社として資産効率を向上させる - 採用が困難な環境下、省力化投資を推進する
③自己資本比率の改善 （財務レバレッジ抑制）	自己資本/資産：↑	- 新型コロナによる業績悪化で毀損した自己資本を回復させ、財務安定性を回復させる - 財務レバレッジ抑制はROE改善にはマイナスだが、売上高利益率と資産効率の改善で打ち返す

○ 課題および取組内容②

● ROEおよび株価の推移

⇒ 「中期事業戦略ビジョン（2022-26）」の着実な実行

当社株式の月間終値平均推移（2022年8月～2025年3月）



連結経営指標	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	11,760百万円	15,050百万円	17,632百万円
経常利益	148百万円	407百万円	367百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	246百万円	398百万円	216百万円
ROE	8.3%	12.2%	5.9%

○ 課題および取組内容③

● 情報開示の充実による資本コストの抑制

⇒ IR活動の強化

➤ 経営戦略や財務情報の開示充実

- ・ 決算補足説明資料の充実やホームページでの情報発信を積極的行います。
- ・ 個人投資家向け説明会を年2回実施いたします。
- ・ 会社ホームページのリニューアルにより情報へのアクセスを容易にいたします。

➤ 非財務情報の開示充実

- ・ サステナビリティに関する課題への取組みについての開示を積極的行います。

○ ご参考

- 「第68期（2025年2月期）決算補足説明資料」（2025年4月30日付）を併せてご参照ください。

<https://shikizai.com/ir/library/>

<主なご参照先>

- ◎ 「中期事業戦略ビジョン（2022-26）」…15～18ページ
- ◎ ROE維持・改善…11～12ページ
- ◎ IR活動の強化
 - 経営戦略や財務情報の開示充実…13ページ、21ページ
 - サステナビリティの取組み…19～20ページ